令和２年度 安芸太田町立戸河内小学校

第１７回卒業証書授与式　学校長式辞

春の息吹が感じられる本日、「第１７回安芸太田町立戸河内小学校、卒業生」として本校を巣立っていく５名の皆さんご卒業おめでとうございます。

本来であれば多くのご来賓の方々やたくさんの地域の皆さんに見守られながら、卒業証書授与式を盛大に挙行する予定でしたが、みなさんもよく知っているように、およそ一年前から、日本中の多くの学校がコロナウイルス感染症対策のための措置が執られています。

そんな中でも、本校の卒業証書授与式がこうして行われたことを喜びたいと思います。ご参列を予定されていた方々も、この場におられなくても皆さんの卒業を心からお祝いして下さっていることでしょう。

皆さんは、たった今、卒業証書をしっかりと手にしました。堂々とした今の姿に６年間の成長の足跡がうかがえ、頼もしく・うれしく思います。皆さんはもとより、ご家族の方々もどんなにかお喜びのことと思います。

さて、４月に３人で始まった本校の６年生は今、２人の仲間を加え、５人で卒業します。仲間が増えると言うことは新しい出会いがあったということです。人と人との出会いですから、良いことばかりではなく、上手くいかないことや衝突もあったかもしれません。それでも、多くの人と出会うことでたくさんのことを学んで欲しいと思います。

これから皆さんはたくさんの人と出会っていきます。そして世界を広げていきます。その中で自分の生き方を決め、自分の人生を、自分自身で創っていくのです。

昨年１２月７日に、元オリンピック選手のマラソンランナーである油谷繁さんが本校を訪れて下さいました。走り方を教えて下さったり、貴重な経験をたくさん話して下さったりしました。その中で、こんなことも話して下さいました。

「選手時代、怪我をした時や結果が出なかった時は本当に辛かった。負けた時もとても悔しかった。それでも、ポジティブに考え、練習を続け、練習を重ね、自信をつけて試合に臨むことが大事だと、ずっと考えていた。」と。

この言葉の中には、皆さんのこれからに生き方に大きなヒントがあると思います。それは「練習の積み重ね」と「ポジティブ」です。「**継続は力なり**」と「**常に前向きに**」と言い換えることもできます。もう一度言います。「継続は力なり」と「常に前向きに」の二つを**卒業する皆さんに贈る言葉**とします。

最後になりましたが、保護者の皆様。お子様のご卒業、まことにおめでとうございます。お子様が今後、益々健やかに心豊かに成長されますよう、心からお祈り申し上げますと共に、本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。

卒業生の輝かしい旅立ちを祝福するとともに、一人一人が、「**継続は力なり**」「**常に前向きに**」そんな大人への階段を登っていくことを心から願い、式辞といたします。

令和３年３月２３日

安芸太田町立戸河内小学校長

吉田浩一